基山っ子

基山町立基山小学校　学校だより
第４号　令和４年　５月３０日
☎92-2431 文責 校長 福山 信代

学校教育目標「きたえ　やりぬき　まなびあう」
～心も体も元気で前向き 基山っ子　明日も行きたい！基山小～

天国と地獄の長ーい箸　の話　明日も行きたい！基山小にするために

５月の全校朝会では、「思いやり」について考える次のような昔話を紹介しました。

昔、ある男が、自分は死んだと思って閻魔大王のいる所に行きました。すると閻魔大王は「ふむ？おまえは死んだ人の名簿に載ってないぞ。戻ってよい。まあせっかく来たから死後の世界を見学して帰るか？」とおっしゃったので、男は天国と地獄を見学することにしました。

まず、地獄に行ってみると、ちょうどお昼ご飯の時間でした。テーブルの両側に罪人たちがずらりと並んで座っています。「地獄だから、きっと粗末な食事に違いない」と思ってテーブルの上を見ると、なんと美味しそうなごちそうが、山のように盛られた皿が並べられていました。それなのに罪人たちは、皆がりがりにやせこけています。なぜだ？と思って見ていると、彼らの手にはとても長ーい箸が握られていました。箸は、1m 以上ありそうでした。その長い箸を動かし、ごちそうを自分の口に入れようとしますが、できるはずがありません。互いにぶつかりあい「おまえの箸が邪魔だ」「おまえのせいで食べられない、箸をどけろ」などいらいらして怒り出しました。「こんな箸じゃ食べられん」とぶつぶつ文句ばかり言っている者もいます。「これは確かにひどいところだ」と男はつぶやきました。

次に天国に行きました。夕ご飯の時間でした。天国の住人たちがテーブルに並んで座っています。驚いたことに、地獄と何もかも一緒でした。テーブルの上の山盛りのごちそうも、箸も 1m 以上あるあの長ーい箸です。なのに天国の住人は、ふくよかで肌も艶々しています。「いったい、天国と地獄はどこが違うのだろう」男はわからなくなってしまいました。しかし、食事が始まると、解決しました。長ーい箸でごちそうをはさむと「どうぞ」と言って、自分の向こう側に座っている人に食べさせてあげたのです。いただいた人も「ありがとうございます。今度はお返ししますね。あなたは何がお好きですか。」とお互い食べさせあっていました。「おいしいですね」と皆なごやかで幸せそうでした。

なるほど、天国と地獄の違いがわかったぞ！と叫んだとたん、男は気を失い、気が付くと、自分の家のベッドの上でした。

皆さんは、違いが分かりましたか？自分のことだけ、自分だけがよければいいと考えていると幸せにはなれません。相手のことも考えてみんなで助け合い協力すると、天国みたいに「明日も行きたい基山小」になると考えます。

マチコミメールについてのお知らせとお願い

〇**欠席の連絡**は、現在、連絡帳や電話で対応しておりますが、マチコミ「お休み連絡」の機能を使えるように準備中です。整いましたら、プリントでお知らせします。

〇マチコミメールは、天候の急変や犯罪発生等、緊急時、下校時刻変更や保護者引き渡し依頼を学校から保護者の皆様に連絡する重要なツールです。しかし、中にはお仕事中でメールを見ることができない方もいらっしゃいます。緊急時、情報をいち早く受け取っていただき、子供たちの安全を早急に確保するためにも、**複数のご家族または親族の皆さん**がお子さんの学年に**マチコミ登録**をしてくださると助かります。※登録に必要な QR コードや手順のプリントは。配布しておりましたが、ない方は、学校にお知らせくだされぱすぐにお渡しできます。

裏面もご覧ください。

5年生が くれた感動～宿泊体験学習～

【皆で踊れ！キャンプファイヤー】

19、20 日、無事に行くことができました。背振の山は、基山っ子を美しい青葉と暑くもない寒くもない最高の空気で迎えてくれました。夜のキャンプファイヤーは、20 組もの出し物が、あっという間に感じるほどの多彩さと盛り上がり。5 年生のタレント、層の厚さに感心しました。皆で互いに盛り上げるようと一緒に踊ったりライトを振ったり協力し合う態度に胸が熱くなりました。

感染対策は徹底しました。食堂に入る際、１列に並び、黙って待つ基山っ子に他団体の方からお褒めの言葉を頂きました。特に最後のクラスは待ち時間が長くなりましたが、感染を広げたらいけないと不平も言わず健気に待ってくれていた態度も立派でした。

素敵なエピソードは最後も。帰校のタイミングが 1 年生の下校と重なりました。1 年生から「5 年生おかえりなさい」と熱烈歓迎を受けました。心がぽかぽかとなり、帰校式で私も思わず「基山っ子でよかったね」と言うと、5 年生もこくりとうなづきました。※基山小ホームページ「学校の近況」にもアップしています。

「人権の花」贈呈　花で心を育てよう

【県人権擁護委員会協議会小野会長様のお話を良い姿勢で聴く園芸委員】

【苗植えをする５年生】

人権擁護委員の皆様が来校され、全員に花の苗を贈呈してくださいました。「人権の花運動」とは、子供たちが協力し育てることで、生命の尊さを実感し、優しさと思いやりの心を体得することを目的とした運動で、7 年ぶりに基山町に回ってきました。

25 日朝に開催した贈呈式はリモートで実施。代表で園芸委員会の子供たちが受け取り、委員長の寺﨑さんは、立派にお礼の言葉を述べました。

さっそく、クラスごとに植えていました。数か月後、基山小が花いっぱいになった景色を想像すると幸せな気持ちになります。

頂いた花は、ベゴニア、ガザニア、ポーチュラカ、マリーゴールド　いずれも、暑さに強い丈夫な花。子供たちの育てやすさを考慮されたさすがのセレクトです。

基山小学校ホームページ

https://www.education.saga.jp/hp/kiyama-e/

学校だよりカラー版、学校の近況、各学年のたよりや様々なお知らせをアップしています。

コロナ感染と熱中症防止のはざまで

26 日付「学校内及び登下校中のマスクの着用について」プリントでお知らせした通り、国の方針を受け、熱中症対策を優先しマスク着用が見直されました。十分な距離を確保できる場合や体育、登下校時はマスクを外してもよいこととなりました。

心配もあります。外したマスクを落としたりなくしたり、登下校で十分な距離を取ると信号横断等で登校仲間が離れてしまったり。活動中黙っておくというのも、健全な子供にはなかなか酷です。反面、感染は続いています。クラスで陽性者が出ても、マスクをしていたため感染が広がらず、要待機者となることもなく済んでいます。室内では、一人なら外す、しゃべるときは付けると、自分でできるようになるとよいですが(耳掛けマスク、あごマスクも一案)、悩ましいです。